

## 堀内会館再整備基本計画に対する意見一覧

募集期間：令和7年11月26日（水）から令和7年12月17日（水）正午まで

閲覧方法：町ホームページまたは公共施設課窓口

意見を提出できる人：葉山町内に居住、勤務、通学する方または堀内会館・堀内児童遊園を利用したことがある方

意見の提出方法：電子申請システムまたは意見書（様式）による提出

No.	頂いたご意見	町の対応
1	P15. P16住民からの要望もあったように、物資の上げ下げにも運用出来るようにエレベーターは必要不可欠だと思います。まだ検討段階なので、エレベーターの有無でいくら予算が変わるのかを明示してください。	頂いた意見や意見交換会の意見などから必要性について総合的に判断し設計の中で検討していきます。現在、エレベーターについての調査をしているところでございますが、設置する機種などにより金額にはかなりの幅がございますので、予算がどのくらい変わるか検討中です。
2	現時点でなぜ堀内会館の使用を停止（防衛大の合宿には使用）とされているのでしょうか？堀内地区在住の方から質問や不満が出ています。	令和7年7月から町内のいずれかの町内会の会員の方であれば貸出しを開始しています。詳しくは町ホームページをご覧ください。
3	桜の木に関して。かわいそうとも思いますが、11・17の説明会でもお話があったように寿命での倒木などの懸念の方が重視される必要を感じます。例えば伐採した桜を、町内在住の芸術家さんや学生さんなどでオブジェなどに加工し役場や新会館に展示保存するのはいかがでしょうか？	貴重なご意見として承ります。
4	堀内会館の大木 山桜 いつも葉山町が住みよく愛される町であるためにありがとうございます。堀内会館・公園再整備について意見書も提出させていただきますが、1点だけ町長にご提案させていただきます。公園のそめいよしのは寿命、老木となり植え替えが望ましいと思いますが会館の一番奥にとても大きな山桜があります。山桜はそめいよしのと違い寿命100～150年もしくは200年と言う樹木です（鎌倉市HPより）この山桜を新公園になっても残していただきたく提案いたします。（他にも3本大きな木があります）。新しいそめいよしのが立派に育つ間も山桜がみごとに咲いている、何十年も堀内を見届けている。この山桜がシンボルツリーになれば・・・と思います。（ここは昔寺子屋だったと近所のお年寄りに聞きました。昔・・・がすべてなくなるのは寂しいです）	ご提案につきましては、山桜の位置が公園機能に支障がないか、また、植替えの必要があれば樹木調査を行い、植替えが可能かどうかを判断した上で検討していきます。
5	桜の木の伐採は反対です。自然をウリにしている町でありながら安易に木を切る選択は相反していると思います。	ご提案につきましては、堀内児童遊園内の桜の木は樹齢約60年の老木であり、近隣住民の方や地元町内会も倒木の危険性を感じていることから、樹木調査を行い、その調査結果により堀内会館再整備に影響がない箇所の桜の木を残置できるのか検討していきます。
6	20ページ 整備計画ステップについて 児童遊園が閉鎖される期間が長すぎると思います。葉山の子供たちが待ち合わせをして思い切り遊べ近隣の大人たちからも目が行き届く子供たちには憩いの場所の第2公園です。できるだけ会館を解体後公園部分だけ早めに整備できないのでしょうか？ また閉鎖期間だけ防災広場を子供たちのために開放していただく方法はいかががでしょうか？ ご検討いただけると幸いです。	整備計画スケジュールですが、まず初めに考えたことは、堀内児童遊園を利用している子供たちに少しでも迷惑が掛からないようにすることでした。工程の中で、少しでも堀内児童遊園の閉鎖期間を短くするために仮使用期間（5ヶ月 R9.4～R9.8）も考えたスケジュールとなっております。今のスケジュールでは堀内会館よりも堀内児童遊園の供用開始が8カ月程度早くなるように考えております。また、ご提案いただきました堀内防災広場の開放につきましては、R8.4以降に町直営の駐車場になることが計画されていることから開放することは難しいと考えています。堀内児童遊園の閉鎖期間中は、近隣の「木の下公園」、「元町児童遊園」、「港町児童遊園」、「元町児童館」をご利用いただければと考えております。
7	堀内という葉山町でも「都会」のエリアにおいて、多世代が関わり合うためには、営利行為や飲食が可能になるコミュニティセンターになり、利用方法が拡充されることを希望します。堀内の子育て世帯は共働きが多いので、お惣菜やお弁当のテイクアウト（営利行為）ができることは、忙しい現役世代も集まりやすくなり、地域の大人の目があることで、子ども若者もより安心して過ごせる場所になると思います。堀内会館に集まり学んだことをいかして、堀内の子ども若者が、チャレンジカフェをやってもいいと思います。堀内は飲食やサービス業も馴染み深いエリアなので、ノウハウを伝えてくれる大人が集まって、そこで新たな交流や学び、価値創造が期待できるのではないのでしょうか。金銭面でも持続可能なモデルを、堀内会館が先陣を切って実装することを希望します。非営利活動に担い手として参加できる町民は限られます。新たな担い手を発掘し育てていくため、営利行為や飲食が可能になることは、この先50年の堀内会館を中心としたコミュニティの発展にとって欠かせない条件ではないでしょうか。	昨年度、町内会の代表者や利用団体の代表者、そして公募による町民の方等で構成された「堀内会館再整備検討委員会」でも管理運営体制の構築について様々な意見がありました。「堀内会館再整備検討委員会」から町へ提出していただきました「堀内会館再整備の検討に関する報告書」の中でも再整備後の堀内会館をどういった団体が管理運営していくのか重要な課題としての中で、貴重なご意見として承ります。
8	現在の会館の場所（北側配置）での建築が最適と考えます。P6・P12・P13 理由：現在の建物は周囲の住宅から距離がある。→火災の延焼を防げる。騒音の影響も少ない。 ：北側道路より低いため、北側住宅の日当たりに影響が少ないのでは。 ：現在の場所は5つの道路が利用でき、車両の両通行や広い駐車スペースがある。 →新建設予定地は一方通行道路で進入路に道幅が狭い箇所がある。 ：現在の場所は北風を山が防ぎ、南側が空いているので日当たりがよく、庭園を造るにも適している。 埋蔵文化財の該当がない（P3）。→P15平面計画図の北と南反転できないか。 ：用地内においては、標高が高い場所に現在建物があるので津波被害をより防げる。過去の関東大震災・台風の森戸川氾濫時にも被害がなかった。石積もあり地盤がしっかりしていると考えられる。 ：児童遊園利用者は、散歩や午前は乳幼児と保育園児・ゲートボール、午後は幼・小・中学生が主。 休日には、家族連れ。夏・冬の利用は少ない。桜の満開の休日とゴールデンウィークが多い。 意見まとめ（P6・P12・P13・P15他） ①現在の場所（北側配置）に南向きに建ててほしい。利用者の安心安全のため、津波や火災などの避難場所として、この地域では町民の命を守る最適な場所と考えられる。 ②遊園地のゾーンは、遊具・器具・庭園散歩ゾーンと多目的広場の2ゾーン位で。ゾーン分けが多いと使われない場所ができる。利用者がお互いに配慮し、創造しながら遊べる場所にしてほしい。 ③都市計画道路より、今は町民の命を守るために、防災・減災を優先すべき。 次の建て替え時期までに、計画道路ができる見通しを示してほしい。60年前の建設時にも計画はあったが町内会館としての建設を優先し、多くの町内会員が利用してきた。遊園地の広さが道路建設で変わったとしても、それなりに利用ができると考えられる。	ご提案のとおり、最初に現在の堀内会館の位置（北側）に再整備（建替え）することを検討しましたが、都市計画道路が将来開通した時に堀内児童遊園が2つに分断されてしまい子供たちの遊び場・居場所に大きな影響があることから、南側に堀内会館の再整備を計画しました。昨年度、町内会の代表者や利用団体の代表者、そして公募による町民の方等で構成された「堀内会館再整備検討委員会」から町へ提出していただきました「堀内会館再整備の検討に関する報告書」の中でも、堀内会館と堀内児童遊園を一体利用するために、堀内児童遊園を横切る形で都市計画道路を整備する計画となっている都市計画道路の取扱いを課題としていますが、南側に堀内会館の再整備（建替え）をすることで都市計画道路が将来開通した時にも堀内児童遊園が2つに分断されることなく、子供たちの遊び場・居場所に何も影響がないことから、この計画としました。津波浸水想定エリアのため、津波災害避難所にする予定はなく、台風及び火災により自宅等に居続けることに危険を感じた方の一時的な避難場所にはできると考えています。堀内児童遊園の整備につきましては、貴重なご意見として承ります。都市計画道路につきましては、道路用地として買取等できるところから順次進めてまいります。

No.	頂いたご意見	町の対応
9	<p>○地震津波対策 現堀内会館より低地に移動させるのはなぜだろうか。現堀内会館敷地の周囲には鎌倉時代から残る石垣が残っていると聞く。地盤も丸貴舟が埋まっていたような砂地より適しているのではないだろうか。また自主避難所や防災用品の収蔵という観点から言えば、可能ならばハザードマップの浸水域ではない場所を模索して欲しい位である。（→P1、3、8、13）</p> <p>○公園内の配置 すぐ側の森戸海岸線より広い道幅8mという3・6・5道路は将来的にも非現実的で、それを理由とした配置には疑問がある。また多目的広場（ダスト舗装）は必要なのだろうか。遊び場よりイベント優先に思える。（→P7・13・14）</p> <p>○騒音や煙害 「イベント等で使用出来る多目的スペースを広く設ける」とあるがどのようなイベントを想定しているのだろうか。 音楽系の活動を公園内や新堀内会館で許可するのは止めて欲しい（伝統のお祭り関係や単発短時間の公的催し物、今までの頻度位の詩吟などを除いて）。今までの経験で反響する音の大きさもさることながら人によって嗜好の異なる音楽を延々と聞かされるのは辛いものだ。防音室（実質減音）も止めて欲しい。噂を聞きつけて離れた場所からの利用者も有り得るし連日カラオケや楽器の個人練習等に使われかねない。騒音によって付近住民の日常が壊されるような事態にならないようにして欲しい。要望が多いのであれば一般住宅の軒先ではなく福祉会館などによって欲しい。パーベキューや花火も遠慮して欲しい。1組の利用者からすれば1回でも何組もの利用者がいれば、窓を開けたり洗濯物を干したりするような晴れの日に限って連日…となってしまふ。（→P10、13、16）</p> <p>○防災・防犯 大きなキッチンを設えるようだが、火災類焼の危険性からも新会館と付近住宅とは今までのようにしっかりと距離を取って建てて欲しい。それは昨今のトクリュウなど治安に対する不安が増しているなか防犯の面からも言えることで、誰もが24時間自由に入れる敷地であり夜間無人となる会館だからこそ民家との間には人目が充分届くような空間を確保して欲しい。（→P13、14、18）</p> <p>○最後に 住宅と近接しているこじんまりとした公園なので、新会館の利用増を目指す余り周囲と軋轢を生むような施設とならないように配慮して欲しい。維持費が大変なものもわかるが、町内会利用も含めて利用料を取るなどして何とか運営して貰いたい。</p>	<p>地震津波対策につきましては、この地域が津波浸水想定エリアになっているため、津波災害避難所にする予定はありません。台風及び火災により自宅等に居続けることに危険を感じた方の一時的な避難場所にはできると考えています。また、防災用品の備蓄につきましては、なるべく浸水被害を防げるように防災資機材置場を2階に配置することを考えています。騒音につきましては、防音室の設置を検討しており、音楽活動で使用する場合や中学生数人での吹奏楽部の練習も想定しているため、防音室を使用してもらう予定です。煙害につきましては、調理室換気扇の排気口は建物南側以外の場所に設置する予定であり、今後の設計の中で決めていく予定です。防災・防犯につきましても、できる限り、隣地との境界から離す検討を行い、地域に愛される施設を目指します。</p>
10	<p>堀内互助助プラットフォーム（堀内地区協議体）で意見交換した内容からリクエストします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築業者はプロポーザル式だと良いです（地域福祉を考える地元の業者さんに機会をお願いします）</li> <li>・運営主体は、「堀内会館運営協議体」（仮）など多セクター参加型が良いと思います</li> <li>・福祉関係の事業所分室として貸出するも有効だと思います</li> <li>・開かれた地域交流会を開催していきたいので、庭（公園）とも自然に行き来できるように、1F部屋はウッドデッキや縁側などでオープンにも活用できる設計をしていただきたいです</li> <li>・自治会館からコミュニティセンターへの移行をしておくことで、運用と利活用の可能性が広がると思います。コミュニティセンターとなった場合、営利目的とまではいかない収益事業を行えるようになり、地域食堂や災害時に加えてカフェ運営などもでき、そこから派生したお弁当製造や配食事業などが可能になります。これによって地域福祉や子育て支援など公益性にも役立つながら、地域シニアや子育て中の就労支援、社会参加機会の創出にもつながり、現役世代も利用しやすくなると思います</li> <li>・キッチンが1つ設置されていますが、上記のような製造を行う場合、カフェ用のキッチンとは別に1枚壁で仕切られたキッチンが必要になります（仕切りも入れられるように変動可能にしていきたい）</li> <li>・非常時多人数にも対応できるよう、業務用キッチンを備えていただきたいです</li> <li>・2Fも貸出し可能なスペースを設けて、活用機会を増やしてもらいたいです</li> <li>・2Fが全て「倉庫」では勿体ないのでは？エレベーターを設置すれば、2Fトイレは省いても良いかもしれません</li> <li>・町づくりや交流の「場」として、屋外の菜園・ガーデンスペースを設置していただけたら、地域の方向けのガーデニングサークルやガーデニング学校を開催し、ここで栽培した収穫物は上記のカフェなどでも活用、地域の手仕事活動など趣味活動にも展開可能です。シニアの方の社会参加の場、地域の色々な方が楽しむ場、多世代が交流する場になると思います</li> <li>・DIY工作室などがあっても楽しそうで、男性も参加・活躍しやすい活動が出来そうです</li> <li>・将来、道路で隔てられてしまことを考えると、建物は現在的位置付近に建て直し、道路西側には駐車場や菜園ガーデン、防災倉庫や神輿小屋（展示式？）など個別目的とした方が、横断リスクを抑えられるような気がします（会館閉鎖の期間は、いずれでも長くなりそうなので）</li> </ul> <p>よろしく願いいたします</p>	<p>昨年度、町内会の代表者や利用団体の代表者、そして公募による町民の方等で構成された「堀内会館再整備検討委員会」から町へ提出していただきました「堀内会館再整備の検討に関する報告書」の中でも「地域の人が使いやすい施設」、「地域の活性化に寄与する施設」、「子どもからお年寄りまで多様に使える施設」を大事にしたいポイントとしておりまので、貴重なご意見として承り、地域に愛される施設を目指していきます。</p>
11	<p>件名：堀内児童公園および堀内会館再整備に関する要望</p> <p>① 子供の遊び場の確保について 堀内地区には、子供が安全に遊ぶ場所が不足しています。現状の堀内会館と同一の場所で解体・建築を実施し、工事期間が延びても構いませんので、子供たちの遊び場を確保できるようお願い致します。</p> <p>② 現在の堀内児童公園の問題点 現状では、小学生が野球やサッカーを楽しむエリアと、幼児が砂場で遊ぶエリアが同一であり、ボールが幼児に当たる危険性があります。小さな事故・けがは多数起きております。この状況は重大な事故につながる恐れがあるため、ゾーン分けの見直しを強く要望します。 要望するゾーン分け変更案（基本計画 P-13） 球技ゾーン → 新堀内会館建屋建設 新堀内会館建屋 → 遊具・器具ゾーン 駐車場 → 新堀内会館建屋横（県道ができて変更不要） 遊具・器具ゾーン → 球技ゾーン 遊具・器具ゾーンと球技ゾーン・多目的広場を分離 ※ 上記を行うことにより、球技ゾーン・多目的広場での幼児のけがのリスクが低減されると考えます。</p> <p>③ 近隣住民への配慮（騒音・日照権・景観） 現状堀内会館の場所で解体・建築を行う場合、騒音・日照権・景観への影響は最小限に抑えられると考えます。</p> <p>まとめ 子供の安全を最優先にした遊び場確保 ゾーン分けの見直しによる事故防止 近隣住民への影響を最小化</p>	<p>子供の遊び場の確保につきましては、最初に現在の堀内会館の位置（北側）に再整備（建替え）することを検討しましたが、都市計画道路が将来開通した時に堀内児童遊園が2つに分断されてしまい子供たちの遊び場・居場所に大きな影響があることから、南側に堀内会館の再整備を計画しました。昨年度、町内会の代表者や利用団体の代表者、そして公募による町民の方等で構成された「堀内会館再整備検討委員会」から町へ提出していただきました「堀内会館再整備の検討に関する報告書」の中でも、堀内会館と堀内児童遊園を一体利用するために、堀内児童遊園を横切る形で都市計画道路を整備する計画となっている都市計画道路の取扱いを課題としていますが、南側に堀内会館の再整備（建替え）をすることで都市計画道路が将来開通した時にも堀内児童遊園が2つに分断されることなく、子供たちの遊び場・居場所に何も影響がないことから、この計画としました。また、その報告書の中には、大事にしたいポイントとして「児童遊園との一体利用により、面積を有効活用する」としてありまして、再整備後の堀内児童遊園の敷地面積は今よりも広がる予定です。堀内児童遊園のゾーン分けにつきましては、いただきました貴重なご意見を含め、子供の安全を最優先に考え、堀内児童遊園の設計の中で検討していきます。近隣住民の皆様への影響につきましては、この地域は、高さ10m以下（計画高さは、9.6m程度）の建物に日影規制はありませんが周辺近隣の皆様に及ぼす影響を調査しました。その結果、周辺近隣の皆様に及ぼす日影への影響は特にごさいませんでした。ただ、近隣の皆様へ少しでもご迷惑をお掛けしないように、防音室の設置や景観などにつきましても、できる限り、配慮させていただき、地域に愛される施設として再整備をしていきたいと思っております。</p>
12	<p>p17 周辺住宅との景観に配慮した勾配屋根ってのは、良いと思います。 また、ZEBやZEH相当の省エネルギー建物を目指してはどうでしょうか？</p>	<p>ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）については設計の中で検討をしていきます。貴重なご意見をありがとうございます。</p>

No.	頂いたご意見	町の対応
13	<p>日頃より町政運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。私は、堀内児童遊園敷地の隣接地に居住する者です。本計画が周辺の生活環境に与える影響を踏まえ、生活の質を確保する観点から下記のとおり意見を申し述べます。</p> <p>1. 計画の前提及び経緯の明確化について（「はじめに」「1 前提条件」「3 配置計画」等 関連）  本計画のこれまでの経緯については「はじめに」等に一定の説明がありますが、堀内児童遊園内への建設計画がどのような検討過程を経て位置づけられたのかについては、本資料から十分に確認することができません。また、堀内会館再整備委員会報告書概要（p.8から10）においても、新施設の建設場所として児童遊園が選定された経緯や検討内容は明示されていないように見受けられます。</p> <p>堀内会館再整備については、令和5年度以降、段階的かつ丁寧な周知が行われてきた一方で、児童遊園の移設・新築計画については、近隣住民への説明や共有が十分であったとは言いがたく、生活環境への影響を踏まえると唐突な印象を受けます。</p> <p>つきましては、堀内児童遊園内に建設するに至った経緯、検討の過程、代替案の有無等について、当初から現在に至るまでの経過を明確にお示しください。</p> <p>2. ゴミ及び不法投棄への対応について（pp.4から6 等 関連）  本地区には、p.4 IIマル4に示されている資源ステーションのほか、堀内511-3敷地横にも資源ステーションが設置されています。いずれも、特に夏季を中心に不法投棄が見られる状況にあります。</p> <p>また、堀内511-3敷地内には、公園内からの投棄と推察される空き缶・紙くず・小型ボール等が日常的に確認されており、新会館整備に伴う利用者増加は、当該施設のみならず周辺住宅地への影響を含めて検討される必要があります。以上を踏まえ、以下の点を要望します。</p> <p>（1）資源ステーション配置の統合の見直し（pp.3から6等関連）  p.4 IIマル4に示されている資源ステーション新設計画に際し、堀内511-3隣接地の既存資源ステーションを含め、配置・管理を一体的に再編してください。</p> <p>同ステーションには町有地（花壇）が含まれており、現状では管理責任の所在が不明確になりがちです。今後、利用者増加に伴いゴミ問題が深刻化した場合、個人に過度な負担が生じることが適切ではありません。町による明確な管理体制のもとでの対応を強く求めます。</p> <p>（2）配置・平面計画への具体的配慮（pp.11から17 等 関連）  以下の点について、再検討をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車置き場の位置の見直し</li> <li>・児童の日常的な利用が想定されることから、騒音及びゴミ発生への配慮が必要と考えます。</li> <li>・会館と居住地を隔てる塀の高さの確保</li> <li>・ゴミ投棄や小型遊具等の侵入防止の観点から、十分な高さを確保してください。</li> <li>・塀と駐輪場の間への緑地帯の設置</li> </ul> <p>多目的スペースの緑地帯と同様に設置をお願いします。本景観への配慮に加え、居住環境との緩衝帯としての機能を持たせることで、将来的なトラブルの予防につながると考えます。</p> <p>3. 結びに  私は、これまで公園の桜や、子どもたちの元気な声を身近に感じながら暮らしてまいりました。地域に長年親しんできた一住民として、今回の計画そのものを否定するものではありません。</p> <p>しかしながら、堀内児童遊園への会館移設は、一部の隣接住民にとって生活の質に大きく影響する可能性を含む計画です。</p> <p>どうか、近隣住民の生活環境への影響に十分ご配慮いただき、丁寧な説明と慎重な検討をお願い申し上げます。以上</p>	<p>最初に、現在の堀内会館の位置（北側）に再整備（建替え）することを検討しましたが、都市計画道路が将来開通した時に堀内児童遊園が2つに分断されてしまい子供たちの遊び場・居場所に大きな影響があることから、南側への整備としました。昨年度、町内会の代表者や利用団体の代表者、そして公衆による町民の方等で構成された「堀内会館再整備検討委員会」から町へ提出していただきました「堀内会館再整備の検討に関する報告書」の中でも、堀内会館と堀内児童遊園を一体利用するために、堀内児童遊園を横切る形で都市計画道路を整備する計画となっている都市計画道路の取扱いを課題としていますが、南側に堀内会館の再整備（建替え）を行うことで都市計画道路が将来開通した時にも堀内児童遊園が2つに分断されることなく、子供たちの遊び場・居場所に何も影響がないことから、この計画としました。また、堀内511-3 隣接地の資源ステーションの不法投棄及び資源ステーションの配置・管理の一体的な再編につきましては、所管する部署にお伝えします。配置・平面計画への具体的配慮につきましては、貴重なご意見として承り、地域に愛される施設を目指していきます。</p>
14	<p>P3第1章 前提条件について 葉山町 堀内地区再整備・防災総合提言書  堀内会館・堀内児童遊園・8m道路計画を中心とした葉山町防災・都市計画の再構築に向けて  提言の趣旨</p> <p>本提言書は、葉山町堀内地区における堀内会館建替え、堀内児童遊園を含む公園再編、堀内会館前の幅員8m道路計画、ならびに森戸湾・堀内地区全体の防災対策（津波・高潮・河川遡上等）について、都市計画・防災工学・交通計画・コミュニティ形成の観点から総合的に評価し、町として進むべき方向性と優先的に見直すべき点を提言するものである。堀内・森戸湾岸は、高齢化率が高く、道路が狭隘で生活道路が迷路状であり、津波・高潮・河川遡上リスクが集中し、かつ子ども・観光客・歩行者が多いという特性を併せ持つ、全国的にも災害脆弱性が高い沿岸密集地である。本地区は通常の都市整備ではなく、防災と都市空間を一体で再設計する地区として扱う必要がある。</p> <p>【第2章 葉山町の防災リスク総括】  葉山町は急峻な山地、狭い沿岸低地、谷戸への住宅・公共施設集中、湾形状の砂浜を多く抱えるという複合高リスク地形を有している。津波、高潮、河川遡上、土砂災害、液状化、そして避難時間の短さが同時に問題となる。現行ハザードマップは国のL1/L2モデルへの依存が大きく、森戸湾の湾奥反射、急深な海底、砂浜の遡上特性、谷戸のすり鉢効果、生活道路レベルの段差や盛土、旧河川跡が十分に反映されていない。また、歴史津波との照合、高潮や内水氾濫を含む複合災害の最大リスク表示、避難困難区域の明示が不十分である。</p> <p>第3章 堀内・森戸川流域の詳細分析  堀内地区は、海から谷戸へ続く細長い低地で、河川勾配が急なため津波・高潮が道路や河川を通じて加速しながら奥へ到達する構造を持つ。相模湾起源の津波は最短2、3分で到達し得る。森戸川に侵入した津波は堀内交差点から堀内会館周辺まで遡上する可能性がある。高潮についても、南東風の吹き寄せ効果により、満潮・台風条件下で80から150cmの水位上昇が生じ得る。さらに海側低地は砂地・盛土が多く、液状化により避難路が寸断される恐れがある。</p> <p>第4章 堀内地区の都市計画的課題  堀内地区は戦後の区画のまま都市基盤が未整備で、歩道不足、迷路状道路、公共施設配置の不連続が顕著である。堀内会館はバリアフリー不足・避難施設機能が弱く、堀内児童遊園は老朽化し飛び出し対策が不十分である。また堀内地区には公式な津波避難ビルが存在しない。8m道路計画は単体検討に留まり、公園・会館・幼稚園・町内交通全体との整合性を欠いている。</p> <p>第5章 8m道路計画の評価  8m道路は交通利便性や緊急車両通行性向上といった利点を持ち得る一方、生活道路である堀内に導入することで交通量増加・車速上昇・飛び出し事故増加を招く。道路は津波の主流路となりやすく、幅員拡大は水深・流速・破壊力を増幅させる。特に明照幼稚園の通園動線と交差し、津波時には横断不能な流路となり、園児避難を阻害する恐れがある。したがって8m道路は車道拡幅ではなく、歩車分離・交通静穏化・津波流路化回避を前提に再設計されなければならない。</p> <p>第6章 子ども・観光客の避難問題  堀内・森戸湾岸では時間帯により幼稚園児、公園で遊ぶ子ども、観光客が集中する。町の防災計画は居住者の自力避難を前提としており、判断能力・移動能力・土地勘が不足する集団を中心に据えていない。この前提欠如は災害時に避難を破綻させる。公園は災害時に子どもが最初に集まる場所であり、道路計画先行は平時の事故と災害時の混乱を増幅させる。</p> <p>第7章 学校統合と避難所減少  学校統合や公共施設再編により避難所が減少すると、避難距離の増大、過密化、単一障害点化が生じる。避難所は分散していること自体が安全性であり、統合を進める場合は代替避難拠点、協定施設、垂直避難を必ずセットで示す必要がある。</p> <p>第8章 堀内公共空間ゾーンの再定義  堀内会館・児童遊園・前面道路は、個別ではなく堀内公共空間ゾーンとして一体で設計すべきである。堀内会館は津波避難ビルでなくとも、一次避難場所（First Refuge）として不可欠であり、防災コミュニティセンターとして機能強化すべきである。</p> <p>第9章 結論  堀内会館を使わない前提は地域安全保障上の欠陥である。子ども・高齢者・観光客を含め、誰が、いつ、どこから、どのように避難するのかを現実即して再設計しなければならない。本提言書が堀内地区再整備と葉山町全体の防災力向上に向けた建設的な議論と政策決定の一助となることを強く期待する。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。防災などに関する様々なご意見を関係する部署と共有しながら検討し、地域に愛される施設を目指していきます。</p>